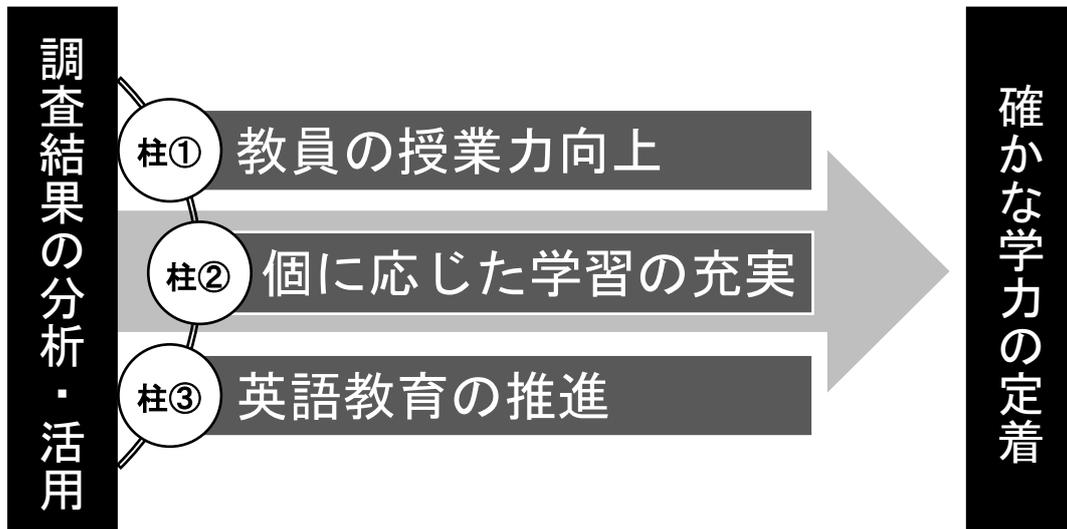


2 データに基づく取り組み

確かな学力の定着に向けた施策体系



柱① 教員の授業力向上

● データを活用した授業改善

学力調査結果の分析をもとに、

- ・ 授業改善プランを作成し、つまずきの解消を図る。
- ・ 翌年度の年間指導計画見直しによる、つまずきの未然防止を図る。

● 授業水準の平準化

足立スタンダード（※）による共通の授業実践

※ 誰もがわかる授業の実現を目指した、「めあてを明確にし、自分で考え、子ども同士で学び合い、学習した内容をまとめて、振り返りを行う、問題解決を中心とした授業スタイル」

● 足立スタンダードに基づく授業実現のための具体策

教科指導専門員

教員経験豊富な専門員が、教員に支援や指導・助言を行い、足立スタンダードに基づいた授業を児童・生徒に届ける。

秋田県大仙市への教員派遣交流

効果的な指導方法を体験・習得するため、教員派遣を行い、授業改善及び区内小中学校への還元を図る。

小中連携教育

小中合同での研修や授業交流などによる、9年間を見通した授業づくりや学びの連続性を意識した取り組み。

柱② 個に応じた学習の充実

● 個別最適な学びを支援【A Iドリルの活用】

G I G Aスクール構想における「1人1台タブレット」環境を最大限生かした、児童・生徒一人ひとりのつまずきを解析し、個に応じた問題を出題するA Iドリル「Q u b e n a (キュビナ)」【全小・中学校の児童・生徒対象】

教科：国、社、算・数、理、英

- ・ 様々な場面での活用が可能（朝学習、授業、放課後補習、家庭学習等）
- ・ つまずきを早期解消し、基礎的な知識・技能の確実な習得を図る。

● つまずきが大きい児童・生徒を支援【各学校でのフォロー】

校内補習

各学校が放課後等の時間を活用し、前年度の学習内容の漏れや今年度の学習内容をフォローするために、定期的を実施

サマースクール

各小学校が夏休み中に10日間以上の補充教室を行い、個別対応で前年度のつまずきを解消（令和5年度からA Iドリル型の補充学習を実施）

● 児童・生徒それぞれの状況に応じた支援【教育委員会でのフォロー】

M I M (多層指導モデル)

学習の基礎となる「流暢な読み」の獲得に向け、語彙や特殊音節等を学力層に応じて指導（令和5年度M I Mデジタル版を全小学校に導入）

中1夏季勉強合宿

算数・数学のつまずきを早期に克服するための、マンツーマン指導による宿泊学習を実施（令和5、6年度は各校通所型を一部モデル実施）



そだち指導

別教室で個に応じた指導（国語・算数）を行い、つまずきの早期解消と学習意欲の向上を図る。

足立はばたき塾

成績上位で学習意欲も高いが、塾等の学習機会の少ない中学3年生を対象に、難関校等受験対策講座を実施

柱③ 英語教育の推進

● 人材支援

英語教育アドバイザー

一定の英語力を有するアドバイザーが小学校を訪問し、英語話者としてのティームティーチングと授業づくりを支援

A L T（外国語指導助手）

より自然で実践的な英語コミュニケーション能力と表現力を高めるため、英語が堪能な外国人講師を各小・中学校へ派遣

● 学習機会の提供

英語チャレンジ講座

中学1年生で英語への苦手意識が生じ始めた生徒のつまずきの早期解消を目的とする、民間講師を活用した放課後補習

英語マスター講座

一定レベル以上の英語力を身に付けている中学生を対象に、オンライン英会話を活用して英語4技能を伸ばすための講座

英語4技能調査

中学2年生を対象に英語4技能がバランスよく育成されているかを測定し、調査結果を学校での指導や学習の改善に活用

実用英語技能検定受験支援事業

中学3年生を対象に英語学習の意欲の維持・向上を図るため、英検受験費用を全額負担（一人あたり1回まで、1～3級が対象）

● 大学連携事業



外国語学部を有する明海大学との連携協定に基づき実施

- ・ 教員の英語指導力を高める研修、指導・助言
- ・ 学生と児童・生徒との交流事業等

令和6年度
足立区学力定着に関する総合調査
調査結果報告書

発行年：令和6年12月
発行 者：足立区教育委員会
編 集：足立区教育委員会
教育指導部 学力定着推進課
〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1
電話 (03) 3880-6597 (直通)
データ作成・印刷：株式会社ベネッセコーポレーション